

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

白 い ま ど

今月の色：紅葉

2020年
11月1日発行
No.485

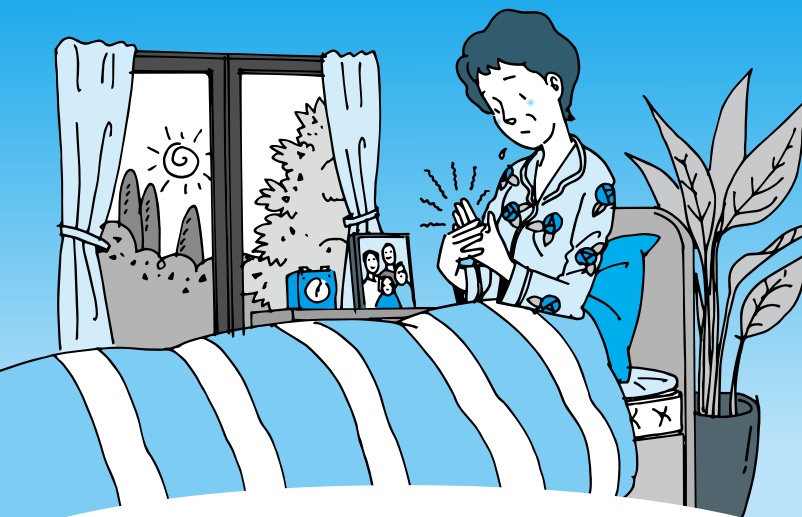
November

11

特集

その痛み、リウマチかも?? リウマチなんて怖くない P-1

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 リウマチセンター P-5
- 診療を支えるスペシャリスト
認定薬剤師(日本リウマチ財団登録薬剤師) P-6



病院理念 私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷浜松病院

その痛み、リウマチかも?? リウマチなんて怖くない



【リウマチはどんな病気?】

関節リウマチは関節が炎症を起こし、軟骨や骨が破壊されて関節の機能が損なわれ、放置しておくと関節が破壊され変形してしまう病気です。症状や進行の程度は人によってさまざまですが、手足の関節で起こりやすく、左右の関節で同時に症状が生じやすいことも特徴です。

現在、国内に関節リウマチの患者さんは100~120人に1人程度いると言われており、決して特別な病気

ではありません。通常「リウマチ」というとお年寄りの病気と思われがちですが、実際は30~50歳代の働き盛りの年代の発病が多いことが分かっています。

【リウマチはもう怖くない!】

以前のリウマチの治療目標は今ある痛みを緩和させ、できる限り関節破壊を遅らせることでした。一方、現在では原因はなお不明ながらも、病気が進行するメカニズムがかなり判明し、生物学的製剤とよばれる抗リウマチ薬も登場しました。治療戦略も進歩し、病気の進行を完全に停止させ、さらには何十年たっても何不自由ない生活を営む、“発症前の生活をすべて取り戻す”ことも現実的に可能な時代に突入しました。ただしこのような治療目標を達成するには、重要なキーワードが2つあります。1つ目は「**早期診断・早期治療開始**」です。リウマチは一般的に発症早期ほど骨が壊れるのが速く、また治療の効果が出やすいことが分かっています。壊れた骨を再び治すことはできないため、できるだけ早い時期に治療を開始することが

関節リウマチの症状

▶ 朝のこわばり

朝起きたときに、手や足を中心に関節がこわばって動かしにくく感じる

▶ 関節痛・腫脹

多くの場合、手足の関節から症状が出現し、左右対称性に炎症が広がっていく

▶ 骨の破壊と変形

病状が進行すると骨が破壊され、筋肉や靭帯が損傷するため、関節が変形する

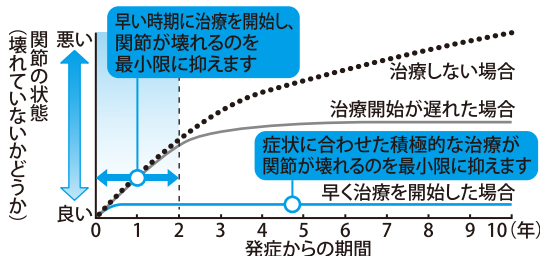


非常に重要です。同じリウマチでも人によって関節の痛み、腫れの場所、程度には差があるほか、発症時に採血で異常を認めない方が全体の20%程度いると言われており、リウマチの早期診断は非専門医では困難な場合が少なくありません。

2つ目が「必要十分な治療」です。治療開始後それなりに生活できるレベルに回復したことで満足してしまうと、以前のリウマチの経過通りに関節破壊は徐々に進行してしまうことから、個々に合わせた治療目標を見据えて必要十分な治療をしていく必要があります。

早期からの必要十分な治療を

■治療の開始時期と関節の状態の変化



当院では採血、レントゲンのみではなく、関節超音波検査、関節MRI検査も駆使しながら早期診断・早期治療開始とともに治療目標達成を意識した積極的な治療に努めています。リウマチに関連するさまざまなお悩み、ご質問があれば当科外来にご相談ください。

文責：膠原病リウマチ内科 部長 宮本 俊明

インフォメーション

11月14日は世界糖尿病デー

「世界糖尿病デー」をご存じですか？

当院では、糖尿病の正しい理解の普及を伝える「世界糖尿病デー」をアピールするために病院玄関をブルーにライトアップします。



糖尿病には痛みなどの自覚症状が少ないため、疑いがありながらそのまま治療を受けないケースが多くあることから、未受診や治療中断が多いといわれています。糖尿病の重症化予防のためには早期発見・早期治療が重要です。正しい知識をもって糖尿病の発症・悪化予防に取り組んでいきましょう。

「世界糖尿病デー」ライトアップ

- ▶ 日時 …… 2020年11月11日(水)～11月15日(日)
- ▶ 時間 …… 17:00～21:00
- ▶ 場所 …… 病院玄関

11月23日 祝日稼働のご案内

11月23日(月)は、通常通り外来診療を行います。

新任医師紹介

緩和医療科
シマダ ルナ
島田 瑠奈
名古屋大学
(2007年卒)
※10月着任



放射線科
コウノ ナオト
紅野 尚人
浜松医科大学
(2013年卒)
※10月着任



麻酔科
マズダ ハナヨ
榊田 花世
広島大学
(2014年卒)
※10月着任



整形外科
エンドウ コウイチ
遠藤 浩一
東海大学
(2016年卒)
※10月着任



外科
イグチ ケンスケ
井口 拳輔
山口大学
(2018年卒)
※10月着任



産婦人科
フジイ ヨシマサ
藤井 良将
東海大学
(2018年卒)
※10月着任



リウマチセンター



発症前の生活を すべて取り戻してもらうために

関節リウマチは昨今、注射製剤をはじめとした治療薬・治療方針の進歩から、“発症前の生活をすべて取り戻す”といった極めて高い治療目標が達成可能になりました。ただし、薬物治療が進歩した中でも外科的手術を必要とする患者さんも多く、さらにはリハビリや看護ケアを含めたトータルケアも重要です。それらすべてを実現するために、2020年10月に膠原病リウマチ内科・整形外科を中心として、関節リウマチの合併症や薬剤の副作用を熟知したリウマチ専門の薬剤師、看護師、理学・作業療法士から構成される「リウマチセンター」を開設しました。

リウマチに関するお悩みや困りごと、何でも結構ですので、お気軽に膠原病リウマチ内科外来にお越しください。

文責：リウマチセンター長 宮本 俊明(写真前列右から2番目)

診療を支える
インチャリト

認定薬剤師 (日本リウマチ財団) 登録薬剤師

みなさんの服薬を
サポートします!



リウマチ治療の中心は薬物治療です。現在では、早期治療により関節破壊を抑え生活の質を維持することが可能となりました。一方で、安全に薬剤を使用していただくためには副作用に注意する必要があります。

当院では、リウマチ治療を受けられている患者さんとそのご家族の支援のために、「薬剤師外来」を設置しています。この外来では患者さんが安心して治療を受けられるように、お薬の説明やシックデイ(体調の悪い日)の対応方法、健康食品との飲み合わせなどの説明を行い、また、治療に関するご自身の意思決定をサポートします。安心して治療を受けら



れるように、医師・薬剤師・看護師・作業療法士がチーム一丸となってサポートしていきます。何かありましたら、お気軽にお声かけください。

文責：薬剤部 佐原 百合名(写真上)・矢部 勝茂

さらに詳しい情報などを、YouTubeの
“聖隷浜松病院チャンネル「白いまど」”で配信しています。



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,500円(税込)を別途ご負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801
(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝祭日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状は不要です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ 産科外来(直通) ☎053-474-3067
(月～金曜 14:00～16:45/祝祭日を除く)

面会の方へ 現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222
発行責任者 院長 岡 俊明